

TICAD M 活動報告書

TICAD

NAIROBI 2016

持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム フォーラム Japan Youth Platform for Sustainability (JYPS)

J.Y.P.S.

Japan Youth Platform for Sustainability

目次 1. はじめに

- 1) TICAD VIIに関わるJYPSの一連の活動概要 2) TICAD VI WGに関して
2. Youth on TICAD VI: Send our young voices

- 1) コンセプト 2) 開催情報 3) プログラム及び詳細報告 4) 参加者登壇者向け資料
3. Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development 1) コンセプト 2) 開催情報 3) プログラム及び詳細報告 4) special thanks (International WGに関して) 5) 参加者登壇者向け資料
4. 和歌山から、世界に声を届けよう
- 1) コンセプト 2) 開催情報 3) プログラム及び詳細報告 4) 参加者登壇者向け資料
5. TICAD VI Youth Declaration
6. 政府との対話の成果
7. SNS及びメディア掲載

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

1. はじめに

1) TICAD VIIに関わるJYPSの一連の活動概要

2016年8月26、27日にアフリカのケニアの首都、ナイロビにてTICAD VIが開催されました。2013年横浜でのTICAD V以来3年ぶり、且つ初のアフリカ開催となるTICAD VIです。昨年2015年は、3月の「仙台防災枠組み 2015-2030」、9月の「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」、そして12月の「気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」が開催されました。そして2016年5月には8年ぶりとなる「G7伊勢志摩サミット」が行われる等、国際的なダイナミズムがある中で、2016年8月のTICAD VIIは、- TICAD V以降にアフリカで発生した諸問題(資源価格の低下、エボラ出血熱と保健システムの脆弱性)- 開発と貧困削減に向けたアフリカ自身の取組(アジェンダ2063)- アフリカ持続可能な社会、国際的な取組「気候変動(COP21),持続可能な開発目標(SDGs)」を進めることなどの議題を扱う開発会議として位置づけられています。

このように大規模で、かつ15年後を見据えた長期枠組みの実施にあたり、ユースの参画が非常に重要になってきています。持続可能な社会を実現するためには、将来世代のニーズもきちんと配慮されなくてはなりません。主催国である日本が今こそ、地球規模の課題に対する責任と行動を示すことが求められていました。

このような背景の中、持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム、英語名:Japan Youth Platform for Sustainability(JYPS)はTICAD ワーキンググループを設立し、現地にメンバーを派遣し、サイドイベントの開催とユースの行動宣言の採択、新たなAfrica Japan Youth Platform (AJYP)を構築しました。JYPSはTICAD VIIに向けて、大きく4つの活動を行うことで、ユースのTICADへの参画と関心向上を促してきました。

1点目に、政策提言です。ナイロビ宣言へのインプットを長期にわたり行いました。加えて、ナイロビ宣言の採択前に、ユースの行動宣言文の採択を行いました。同時に、様々な若者に政策提言の機会を提供しています。また、8月28日にはJYPSが加盟する市民ネットワーク for TICAD(African)とアフリカ市民社会によるTICAD VIIに関する共同声明を発表しました。

http://afri-can-ticad.org/wp-content/uploads/2016/09/joint_press_statement_nairobi_160828_jp.pdf

2点目に、サイドイベントの実施です。まず、8月19日に都内にて「Youth on TICAD VI in Japan:Send our young voices」と題したサイドイベントを実施し、多くのユースにとってTICADを知り、理解を深め、そして発信する機会となりました。本イベントを通じて集約された意見はケニア現地でのサイドイベントに反映され、行動宣言文に集約されました。次に、TICAD開催期間中の8月28日は、ケニア現地においてサイドイベント「Youth on TICAD VI:

Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development」を開催しました。日本の市民社会並びに数多くのアフリカユースと提携して実現したサイドイベントです。本イベントを通じて、ユースの社会参画促進と幅広いパートナーシップの構築を目的に、様々な背景や経験をもつ世界各国の若者が集いました。また彼らの声を広く集約したユースの行動宣言が採択されました。10月29日には和歌山県にて「和歌山からユースアクションを」を開催しました。和歌山の若者が集い、社会へ、そして

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

世界へ若者としての意見を届けるべく、若者の社会参画について考える機会が地方のユースにも提供されました。また、TICADに実際に参画したユースの登壇により、TICADの認知度も高まりました。これらに加え、8月26日には、国連フォーラム&東京大学KOMEX共催勉強会「緊急直前:アフリカの今とTICAD VI 丸分かり勉強会」にJYPSも登壇しています。

3点目に、政府との対話です。具体的には、国際母子栄養改善議員連盟での対話や市民社会のネットワークを通じた「TICAD VIIに関する外務省と市民ネットワーク for TICADとの対話」を行いました。これらを通じ、藤田TICAD担当大使に直接、ユースの意見を集約した行動宣言を手渡しし、質疑応答を行いました。

4点目に、SNS及びメディア掲載を通じたTICADの若者への認知度向上です。TICAD開催前からJYPSのSNSを通じた情報発信を行いました。また、TICAD開催期間中にはケニア現地に渡航しているメンバーがリアルタイムで情報発信を行い、現地の様子をいち早く発信しました。また、アフリカをテーマにした日本初にして唯一のキュレーションメディアである「Africa Quest.com」にも活動が掲載されました。

これらの活動を通じて、JYPSは様々な背景を持つ世界各国の若者の意見集約の機会をTICADの名の下に作り上げました。JYPSは引き続き、若者のエンパワーメントと政策形成にかかわる機会を提供すると同時に、実質的な政策提言を通じて、日本における若者を含むマルチステークホルダー参画の仕組みを構築するため、更なる若者のプラットフォームを作ります。

2) TICAD VI WGに関して

TICAD VI ワーキンググループ(WG)は、TICAD VI開催(2016年8月27,28日)とそれに向けた活動における幅広い若者主導のパートナーシップをコーディネートするために設立されました。1名のコーディネーターと5名のWGメンバー、JYPS政策局の提携から成り立っています。TICAD VIのような大規模で、かつ未来を見据えた長期枠組みの実施にあたり、ユースの参画が非常に重要になってきています。持続可能な社会を実現するためには、将来世代のニーズもきちんと配慮されなくてはなりません。TICAD VI WGは冒頭に述べた国際的目標、また国内での問題解決を、日本政府やアフリカ各国政府、関係国際機関が示すよう求められていました。上記の活動を行うにあたり、TICAD VI WGは、TICAD VI開催とそれに向けた活動における幅広い若者主導のパートナーシップをコーディネートするために設立されました。第一期活動期間は暫定的にTICAD VI首脳会合(2016年8月27日)、また第二期活動期間はフォローアップ(2016年11月30日)までを予定しています。本WGの活動は以下の通りです。

1 TICAD VIという機会を通じ、日本の若者に以下を伝える

1.グローバルイシューと自分たちの関わりがあること 2.そのような問題に対し、声をあげ、世の中を変えられる方法があること(アドボカシー) 3.そのような問題を自分事とし、できること

に気づき、実践をしていくこと(ローカライズとアクション) 2 TICAD VIIに関する公開イベントを開催する = TICAD VIでのサイドイベント開催

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

3 TICAD VIIに関心を持つ海外の市民組織、国際機関と連絡・調整・情報提供を行う 4 TICAD VI 開催まで、また開催後に省庁や国際機関と意見交換を実施する

実行委員会は主に A) アドボカシー B) アウトリーチ・キャンペーン で構成されます。

◎アドボカシーチームは、TICAD VIで議論されるべき内容を多くの若者団体と共同しながら訴え、成果物における若者の声の反映を目指します。◎アウトリーチ・キャンペーンチームは、少しでも多くの若者がTICAD VIIについて興味関心を持ち、自分に何ができるのかを考えるきっかけを作ります。また、学びの場を提供し、自分自身がどう関わることができるのかを知ってもらうために活動します。イベント企画運営開催からソーシャルメディア戦略などの広報等を幅広く担います。

名前 所属 役職

久保田彩乃 名古屋大学 WG統括 / アドボカシー

阪田恵 開発メディア インターナショナル・コーディネーター / アドボカシー

佐藤里咲 早稲田大学 アウトリーチ・キャンペーン

嶋田仁 和歌山工業高等専門学校 アウトリーチ・キャンペーン

秦健太 和歌山工業高等専門学校 アウトリーチ・キャンペーン

三井瑞穂 徳島大学 アウトリーチ・キャンペーン

JYPS政策局 JYPS アドボカシー

TICAD WG応募フォームはこちら

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfRy22KMJs9nj9CrSMFxDTyajhxNMkpKsOB_tB_gkmLnFdc9w/viewform

TICAD WG規約はこちら

https://docs.google.com/document/d/14f0LqBTbcUIhHzRCdJg4E4w0aWZ_uob2TAHe2f-yuv8/edit

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

2. Youth on TICAD VI: Send our young voices

1) コンセプト

TICADは、アフリカ諸国のみならず、開発に携わる国際機関、パートナー諸国、アジア諸国、民間企業、市民社会も参加するマルチの枠組みです。国際社会の中で、広く研究、現地との対話などを結集し、真にアフリカの開発につながる議論に努めてきました。各国の市民社会、企業、アカデミアなどは、TICADのプロセスを通して、様々な政策提言を行って来ました。特に2016年のTICAD VIIは、「持続可能な開発目標」(SDGs、2030アジェンダ)や気候変動に関する「パリ協定」が採択されてから初めてのTICADであり、国内外から大きな注目を浴びています。以上の事由をふまえ、JYPSは『TICAD VI』の開催を通じ、アフリカ開発について理解を深め、考え、そして私たちの意見を発信しました。本イベントでは、様々な経験をもつ若者と協働しながら、持続可能な開発を目指す若者が集い声を上げ、行動宣言の作成に繋がりました。

【Youth on TICAD VI in Japan: Send our young voices】の目的は以下の通りです。1) 国内における「TICAD」の認知、及びアフリカへの関心を向上させ、未関心層の社会参画を促進する 2) 日本やアフリカにおけるユースのニーズとプライオリティを明確化する 3) ユースが議論することを通じて現状を認識し、国内外のユースの国際問題や地域問題に対する関心を向上する 4) 個々のニーズを然るべき方法で集約するプロセスを通じて、ユースによるTICAD VIおよび今後

世界的な枠組み作りにむけた取り組みと参画を促進する 5)本企画の参加者を通じて、若者同士と他のパートナーによるパートナーシップを形成促進する

2) 開催情報

日時: 2016年8月19日 (金) 13:30 ~ 15:30

1. 場所: ハロースペース 吉祥寺

2. 参加者数: 35名

3. パネルディスカッション 登壇者

a. 稲場雅紀さん: NGOネットワーク「動く→動かす」事務局長/市民ネットワーク for TICAD 世話人

b. 杉下智彦さん: 国際協力機構(JICA) 国際協力専門員 保健分野課題アドバイザー

c. 関口詩織さん: 日本ソマリア青年機構代表 早稲田大学 文化構想学部4年

d. 辻愛麻さん: TICAD V 学生 元西日本代表

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

e. 小林あやめさん: Founder of AIESEC in Malawi

4. 主催 ・ 主催: Japan Youth Platform for Sustainability

3) プログラム及び詳細報告 「Youth on TICAD VI in Japan: Send our young voices」はセッション3とパネルディスカッションおよびビデオ紹介により構成されています。プログラムは以下の通りです。

・セッション1

セッション1では稲場雅紀さまに「TICADの歩みとTICAD VIIについて」というテーマでお話をさせていただきました。アフリカの認識を確認するところから始まり、TICADが一体どのようなものか、どのような流れでVIまでつながってきたのか、そしてもっとも熱く語って下さったのはTICAD VIIについてでした。TICAD VIがなにを目標にしているのか、なぜ重要なのか、背景まで押さえながら話してくださいました。

・セッション2

セッション2では杉下智彦さまに「強靱な保健システムとアフリカの現状」というテーマでお話をさせていただきました。医療という観点からアフリカを分析するため、諸外国との比較を行い、アフリカの現状について教えていただきました。そこからどのようなことが問題で、どのような活動が必要か、実際にどのような活動を行い、どのような効果があるのかを話してくださいました。 © Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

セッション1 稲場雅紀さま セッション2 杉下智彦さま

・パネルディスカッションとセッション3

パネルディスカッションのテーマは「パートナーシップとTICADにおけるユースのオーナーシップとは」としました。パネルディスカッションを通じて、参加者には ・TICADのコンテキストにおいて何が若者にとってのプライオリティーなのか ・若者は様々な枠組みに対し、どのように参画すべきか、またどのように参画できるのか ということを考え、自分なりの意見を持っていただくことを意図して設定しました。

以下、テーマに沿って実際の発言を掲載させていただきます。杉下さま:ユースは社会の中で一人の人として見られていない部分もあります。学生が総じて若者としてどう彼らを動員しつつ、巻き込めるのかが今後の日本のユースに求められています。いかにその他大勢の若者を巻き込んでいくのかケニア現地の若者も知らない中で巻き込んでいく必要があると考えます。

関口さま:自由な発想で若者のつながりを担保しつつ、コミットしていくことが重要だと思います。

小林さま:マラウィの定義ではユースは35歳以下です。マラウィには社会課題が多く、ユースのオーナーシップは非常に高いと思われます。雇用を単純に増やすのはインフラ設備の課題等もあり簡単ではありません。自分の手に職をつけて人に教えられるような人材になることが重要です。

辻さま:アフリカのユースと日本のユースが共に活動できるような場を作っていくことが大切です。

同時にセッション3もパネルディスカッションの続きで行いました。セッション3は「ユース団体のこれまでの活動とTICAD」について討論を行いました。世界最悪の紛争国と謳われるソマリアに対して、日本で唯一現地活動している学生NGOである日本ソマリア青年機構の方々に登壇していただきました。

お互いにこれまでの活動をより良いものにし、今後につなげる話し合いを行うことができました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

最後にコメントをいただきましたのでご紹介させていただきます。

稲場さま:アフリカの人々とコミットしながらアフリカで活動することが重要です。日本の援助政策など先進国が作っている問題は日本始め先進国の人が変えないと変わりません。先進国が作ったルールを変えられるのは先進国の若者のみです。杉下さま:SDGsはユニバーサリズムの時代です。それぞれに問題があり、どう解決していくのかという一種のグローバル以上にプラネットな時代です。アイデアを信じています。アフリカではヨガを通して健康を見つめる動きがあります。アイデアが世の中を変えていくし、そこにお金がつく時代。アフリカのフォローワーには是非皆さんになってほしいと思います。途上国の問題解決ということではなく、地球全体の課題を解決している気持ちで。

日本ソマリア青年機構さま

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

パネルディスカッション・セッション3の様子

- 登壇者紹介 イベントでは、以下の5名がパネリストとしてご登壇くださいました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

- JYPSチラシ イベント参加者に向けて、JYPSの紹介として以下のチラシを配布しました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

3. Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development

1) コンセプト

TICAD is an international conference on African development by Japan. TICAD has started from 1993 and this year in 2016 as the 6th, it will be held in African continent "for the first time" in the history of TICAD. This is a sign for Japanese government to strengthen African development and its partnership with Japan and Africa.

This event: "Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development" will prepare for a youth declaration by collecting as many African youth comments and opinions from attendees and also from sent opinions prior to this event. This is the place for you to SHOW YOUR OWN OPINIONS to develop and improve the

situations in Africa. If you are interested in this event, please fill out this application form: <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdtYxTtNKgWlQ3YeUJFc0d2N5qvQeTW1cqDweNtMVqBr5CgTw/viewform?c=0&w=1> Notice: due to the capacity of the venue (40 to 50 people at maximum), we apologize that only the person with an invitation letter from JYPS will be able to attend this event when the number of applicants surpass the capacity.) In addition, anyone who would like to volunteer to support the event is appreciated. Application deadline: by August 17th.

EVENT TITLE: Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development DATE/TIME: 28 August 11:00~12:30 VENUE: Laico Regency Hotel ORGANIZERS: Japan Youth Platform for Sustainability (JYPS)

<http://japanyouthplatform.wix.com/jyyps>

Your inputs for "youth declaration" are highly appreciated regardless of your attendance at the event. Comments form is open to everyone:

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1xfV9xmWCv08iCZHmtdLRD4bpzeLOCJQuLkW9x7Zx-88/edit#gid=0> Your voices as African Youth will be included in the youth declaration to be sent to Japanese authorities after.

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

With more opinions, the youth declaration will be enriched and strengthened to be more effective as an advocacy. We highly appreciate your opinions. In case that you have a problem with opening this format, post your comments on this Facebook page's discussion page below.

*please include your name, occupation, nationality, and age.

Youth is the strongest driving force for sustainable developments at the local, national, regional, and international levels, and the coordination and facilitation mechanisms for sustainable development must include, inter alia, voices of children and youth for achieving sustainable developments. In order to achieve Sustainable Development by youth and for youth, this side event, "Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development", aims at raising awareness, advocacy and partnership between and among Japan and Africa. This side event consists of 3 major components; what's the measures of TICAD been implementing for TICAD, how could youth shape TICAD and Sustainable Development paradigm, and how could partnership go for TICAD and beyond TICAD. Japan Youth Platform for Sustainability (JYPS) is a national platform for young people in Japan, to facilitate the participation and priorities of young people and to coordinate advocacy toward the Sustainable Development. JYPS has more than 30 youth-led organisations in its online platform and involved in G7, G20, Tokyo International Conference on African Development (TICAD), Asia-Pacific Economic Cooperation (APEC), Sustainable Development Goals (SDGs), High Level Political Forum (HLPF), etc.

Join this event and send your voices for African sustainable development.

Event Details

Title Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development

Objectives 1. To equip young people from Kenya, the African region and internationally with critical knowledge regarding TICAD VI, with particular emphasis on the TICAD VI process 2. To provide training to empower youth to effectively engage in TICAD

process through advocacy and stakeholder meetings 3. To identify mechanisms by which youth may play roles in the monitoring and implementation of the Nairobi Declaration

Outcomes 1. 30-40 youth equipped to meaningfully participate in TICAD VI

2. Summary document of outcomes submitted to TICAD Comitee 3. Knowledge sharing with youth as well as with multi-stakeholders

2) 開催情報及びプログラム

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

※定員を大幅に上回る応募申込み(世界22カ国から700名超の応募)が殺到したため、インターナショナルメンバーとの協議の下、多様性包摂性を適え招待した人数のみの招待制(※ 選定方法については後述)としました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

Date Saturday 28rd July, 2016

Time 11:00am - 12:30pm

Venue Laico Regency Hotel, Nairobi,
Kenya

Language English

詳細プログラム

※パネリストの一人が当日来なかったため急遽、スピーカーのStephen Machuaに代役を務めてもらいました。(外国ではこのようなことも起こり得るため、柔軟で臨機応変な対応をすることが肝要かと思われます。)

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

3) 詳細報告

8月28日はケニア、ナイロビ現地において「Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development」を開催しました。本イベントは、JYPSメンバーのみならず、ケニア、ナイジェリアをはじめ、4カ国8名のユースが協力して実現した、日本とアフリカのユースによる協働サイドイベントとなりました。多国籍メンバーによる国際的な告知活動により、イベント参加には、700名超ものアフリカユースからの申込が殺到しており、多様性、包摂性を重視し、国籍、所属、活動内容、ジェンダーバランスなどを総合的に鑑みて招待したユースと当日参加者を合わせ、延べ約130名もの参加者が集う、立ち見で大盛況のイベントとなりました。登壇者によるスピーチに続いて行われたパネルディスカッションでは、参加者を交えて、非常に活発な議論が会場を飛び交い、急遽、終了時刻を延長し、最後までアフリカのユースとの熱い議論が交わされました。この議論を踏まえ、8月19日に東京のイベントで集約した意見と、アフリカのユースの意見を集約した「TICAD VI ユース行動宣言文」を採択しました。また、本イベントの開催を通じて培われた日本とアフリカのユースのネットワーク、及び協働関係を更に発展させるべく、Africa Japan Youth Platform (AJYP)の発足が表明されました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

スピーチセッションでは、計4名のスピーカーが登壇し、日本のユースからTICADの概要、TICAD VとVIIにおけるユースの活動と経験について発表されました。続いて、リベリア出身のユースから、2014年のエボラ危機について、流行当初の現地での誤解や危機意識の欠如など、学校や地域コミュニティでの実際の様子を例に、現地の生の声と、そこから得た教訓について

共有されました。次に、アフリカ開発におけるユースの可能性や役割について、最後に、アフリカのユース自らが貧困に立ち向かい、自立していくことについてスピーチが行われました。パネルディスカッションでは、計4名のパネリストが登壇し、ユースとしての立場、そして、ユースと関わる立場の双方から、共に意見交換が行われました。デジタルメディアなどを用いてユースの能力に関して提言活動を行うAfrom Media代表のユース、Forest Action Networkのプログラム統括のユースが、政策策定プロセスにユースが関わり、適切な資源配分を得ることの重要性などについて話されました。また、持続可能な社会構築においてユースと関わる国際機関のプログラム担当者、African Women for Research and Development代表、且つ、Jomo Kenyatta Universityの教授からは、ユースが積極的に社会参画していくことへの期待が述べられました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

8月19日(於:東京)、8月28日(於:ナイロビ)の二つのイベントを通じて作成、採択した「TICAD VIユース行動宣言文」は、計22ヵ国700名超のユースの声を反映し、計80超もの組織からの賛同を得ました。作成には、事前にオンラインフォームで意見公募をし、8月19日東京イベント当日のコメントタイムの活用、メーリングリストを用いたドラフト共有と最終レビュー、最終集約の4段階のプロセスを経て、国境を越えたグローバルな意見を宣言文に反映しました。内容は、ナイロビ宣言の骨子に即し、産業化、強靱な保健システム、社会安定の3項目から成り、「若者なくして若者の政策なし」として、若者がTICADのアジェンダ策定プロセスに参画する意義を掲げ、時事的問題、地域的課題を踏まえながら、日本、アフリカ相互の課題解決を目指す、ユースならではの視点や意見が盛り込まれています。各国政府に対し、ナイロビ宣言の実施過程のモニタリングにユースをパートナーとして加えることや、若者の経済的地位の向上、若者の健康と福祉の支援、日本・アフリカの相互学習機会の提供を実現するグローバルユースファンドの設立と、それに向けた資金提供を求めています。また、日本政府によるABEイニシアティブ(African Business Education Initiative for Youth)を通じ、各学術分野への投資増加の要求、日本とアフリカの若者が協働できる環境づくりの構築にも言及しています。保健分野では、身体的に障がいを持つ人々のみならず、日本で多く見られる精神的な健康問題の解決も目指すべきであることなど、アフリカの若者への投資や支援のみならず、日本の若者の課題も、共に解決していくべきであると提言しています。この宣言文は、8月28日のイベント当日、多国籍協働メンバーと共に、外務省のTICAD担当大使、及びケニアのthe Ministry of Public Service, Youth and Gender Affairsの長官へ、紹介し提出しました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

これら二つのイベントを通じて、国境、大陸を越え、様々な背景や経験をもつ若者が集い、ユースの社会参画促進とアフリカとの幅広いパートナーシップの構築を図りました。ユースの持つ知識とネットワークを最大限に活かし、ニーズとプライオリティを明確化することで、TICAD VIを超え、新たなプラットフォーム、Africa Japan Youth Platformの構築を宣言し、若者の協働を目指します。

4) Special thanks (International WGに関して)

インターナショナルメンバー、登壇者と

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

当日発表プレゼンテーションシート

<https://docs.google.com/presentation/d/1HueprQG2Bf3rvE364Jc0WpsmJNLXH7qk5kaESftJooE/edit#slide=id.p>

4. 和歌山からユースアクションを

1)コンセプト

様々な背景や経験をもつ若者と協働し、ユースの社会参画促進と幅広いパートナーシップの構築を進めました。TICADに対して行ってきた活動を通じ、ユースの国際問題や地域問題に対する関心向上に取り組みました。「和歌山からユースアクションを」の目的は以下の通りです。

1. ユースの国際問題や地域問題に対する関心向上 2. ユースによるTICAD VIおよび今後世界的な枠組み作りに向けた認知の向上 3. 限られた地域のユースだけでなく、地方のユースにも社会参画の機会を与える 4. 日本の若者同士を結ぶ幅広いパートナーシップの実現 5. 国内外のフロンティアに対するユースの役割を共有

JYPSはTICAD VIIに関する外務省との対話をはじめ、日本でのユースフォーラムを開催、日本で唯一、ユース団体としてナイロビにおけるユースフォーラムを実施しました。アフリカと日本の若者によるTICAD Youth Declarationを作成し、真にアフリカ開発に対して取り組んできました。また、アフリカと日本の若者によるプラットフォームAfrica Japan Youth Platform (AJYP)の設立を先導し、ユースとして、世界に声を発しています。

一方、依然として若者の活動の多くは都市部に見られ、地方では、ユースという言葉に聞きなれない若者も少なくありません。その原因としては、ユースアクティビティを活性化させるためのセミナーやイベントの多くが、東京や大阪をはじめとする都市部で開催される事が多いことや、周りにユース活動を行う若者が極めて少ないことが考えられます。こうした現状を革新するため、JYPSは和歌山県内ユースの社会参画を促し、地方でのユースの在り方について参加者に考え、意識してもらおう機会を提供しました。

2)開催情報

1. 日時: 2016年10月29日 (日) 13:30 ~ 16:05 2. 場所: 和歌山ビッグ愛 9階 男女共同参画センター 会議室A 3. 参加者数: 24名 © Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

4. 招待講演者

a. 梓谷 愛音、石橋 朋実/ ばあむ。 b. 西上 怜歩 / 和歌武者 c. 坂本 晴香/ 元 厚生労働省 職員 5. 主催 :Japan Youth Platform for Sustainability

3) プログラム及び詳細報告

「和歌山からユースアクションを」は全大会、団体発表、UNCONFERENCEから構成されました。プログラムは、以下の通りです。

- 全大会

全体会では、JYPSからアドボカシーとは何か、若者が活動する意義はどこにあるのか、が話されました。また、具体的な若者の社会参画方法の一つとして、当時日本政府が募集していたSDGs実施 指針の骨子に関するパブリックコメントへの参加が紹介されました。次に実際に和歌山県に住みながらもTICADに関わったユースから、TICADの説明と、活動に参画しての学びが共有されました。その後、ケニア現地でTICADサイドイベントの運営を行ったメンバーが現地での活動報告を行いました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

- 団体発表

団体発表では、2組の和歌山で活躍する団体(ばあむ。さまおよび和歌武者さま)と、TICADや様々な世界的な枠組みの策定に関わってきた坂元晴香さまの発表がありました。実際に和歌山県で活動するユースの発表から和歌山県の新たな魅力と課題を発見することができました。また、坂元さまからは「ユースの問題はユースではないと解決できない」と、熱いメッセージが

送られました。

坂元晴香さま 熱心に聴講する参加者

- UNCONFERENCE

UNCONFERENCEは、会場の参加者よりディスカッションのテーマを出してもらい、他の参加者は自分の興味をもったディスカッショングループへ参加し、議論を交わすものです。参加者は、好きなタイミングでグループを変更できます。

UNCONFERENCEでは、参加者から3つのテーマが提示されました。「1. 発展途上国への支援の在り方」「2. 現在の日本の教育のあり方」「3. 和歌山の良さとは」に分かれ、活発な議論がなされました。最後に各参加者が、今後実行していく決意とアクションを記した「3things」を作成し、記念撮影を行いました。

本イベント「和歌山からユースアクションを」の開催を通じ、若者自身による若者のためのイベントが比較的少ない地方都市において、和歌山県におけるユース間のネットワーク

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

ばあむ。さま 和歌武者さま

構築がなされました。JYPSや登壇者による政策提言や具体的なアクションの提示により、ユースのアドボカシーと社会参画への理解が深まりました。また、UNCONFERENCEや各発表を通じて、社会における若者の役割が明確化され、問題解決に向けた若者の意識が向上しました。このようなイベントの実施にあたり、多くの皆様にご協力いただきましたことを、心より感謝申し上げます。まさに和歌山からユースアクションが生まれるきっかけとなるイベントでした。JYPSは引き続き、若者のエンパワーメントと政策形成にかかわる機会を提供すると同時に、実質的な政策提言を通じて、日本における若者を含むマルチステークホルダー参画の仕組みを構築するため、更なる若者のプラットフォームを作ります。

3thingsを手記に記念撮影

4) 参加者登壇者向け資料

- イベント企画書

<https://docs.google.com/document/d/1t5BjGgXAYlgDt1KQ-guQ5Ft9vtaIOF586B51EILD03I/edit>

- イベント参加応募フォーム

https://docs.google.com/forms/d/1OEoJviFkntmCLPstbig_BzgnLbDQnelr05FfQX4TQSo/edit?usp=drive_web

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

- 3things用紙(当日配布) イベントでは、各参加者がこれから行っていく3つのことを以下の用紙に記入し、記念撮影を行いました。

- 会場案内図 イベント参加者に向けて、会場の地図を送信しました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

- JYPSチラシ イベント参加者に向けて、JYPSの紹介として以下のチラシを送信しました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

- プログラム イベントは、以下のプログラムにより構成されました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

- アンケート イベント参加者に向けて、地方でのユースのあり方や考え方を調査するため、アンケートを実施しました。

https://docs.google.com/forms/d/14qFxbmcQONfmaY8Fams4IBo11hdjqFig5wci-TuT_70/edit

- イベント参加者に向けた事前メール イベント参加者に向けて、イベント前日に以下のメール

を送信しました。

ご登録いただきました皆様

この度は明日のイベント『和歌山からユースアクションを』へご登録頂き、誠にありがとうございます。主催者JYPSの久保田と申します。

明日の詳細についてご連絡いたします。[Facebookイベントページ](#)にも記載されています。本イベントは和歌山の若者が集い、社会へ、そして世界へ若者としての意見を届けるべく、若者の社会参画について考えるイベントです。和歌山県等の地方都市からでも日本や世界を動かすことができるのだということを、TICAD VIIに参画したユースと共に考え、話し合います。よろしくお願い致します。

【和歌山からユースアクションを】・日時:10月29日(土) 13:30~16:00 **開場は13:15**です。・参加費:無料・場所:和歌山県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

-参加者アンケート結果

アンケートより、参加者(ほとんどが和歌山県民)の多くがユースの活動について知りませんでした。ユースアクティビティに興味を持っている者もいましたが、「参加してみたいと思っていた」という段階で終わっており、和歌山県では「若者が活動する機会」が少ないことが見受けられました。こうした現状は和歌山のみならず、全国の地方都市でもいえることです。今回の和歌山イベントは、まさに若者のアクティビティを奮起させる良い機会を提供できました。アンケートでも、多くの参加者が「ユースアクティビティに参加してみたい、興味をもった」との解答でした。「地方から若者の社会参画を増やすには?」という質問にはたくさんの意見が寄せられ、参加者の関心の高さが感じられました。このように、地方のユースも自分の意見を持っていますが、彼らには意見を発信する機会や人々の交流の場が確保されていないために、声を届けられずにいます。我々は、日本全国広く若者の声を集めることが重要でありさらに、ハンデキャップのある地方都市の若者の声も取り残さないように努める必要があります。以下、アンケートの集計結果です。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

5. TICAD VI Youth Declaration

概要 1. 8月19日(於:東京)、8月28日(於:ナイロビ)の二つのイベントを通じて作成、採択した「TICAD VIユース行動宣言文」は、計22カ国700名超のユースの声を反映し、計80超もの組織からの賛同を得ました。作成には、事前にオンラインフォームで意見公募をし、8月19日東京イベント当日のコメントタイムの活用、メーリングリストを用いたドラフト共有と最終レビュー、最終集約の4段階のプロセスを経て、国境を越えたグローバルな意見を宣言文に反映しました。

2. 内容は、ナイロビ宣言の骨子に即し、産業化、強靱な保健システム、社会安定の3項目から成り、「若者なくして若者の政策なし」として、若者がTICADのアジェンダ策定プロセスに参画する意義を掲げ、日本、アフリカ相互の課題解決を目指す、ユースならではの視点や意見が盛り込まれています。具体的には、若者の経済的地位向上のみならず、保健や社会安定化の分野における若者の活動を支援する分野横断的な若者主導の活動におけるサポートを求めています。

各国政府に対し、ナイロビ宣言の実施過程のモニタリングにユースをパートナーとして加える

ことや、若者の経済的地位の向上、健康と福祉の支援、日本・アフリカの相互学習機会の提供を実現するグローバルユースファンドの設立と、それに向けた資金提供を求めています。また、日本政府によるABEイニシアティブ(African Business Education Initiative for Youth)を通じ、各学術分野への投資増加の要求、日本とアフリカの若者が協働できる環境づくりの構築にも言及しています。保健分野では、身体的に障がいを持つ人々のみならず、日本で多く見られる精神的な健康問題の解決も目指すべきであることなど、アフリカの若者への投資や支援のみならず、日本の若者の課題も、共に解決していくべきであると提言しています。

3. この宣言文は、8月28日のイベント当日、多国籍協働メンバーと共に、外務省の藤田順三TICAD担当大使、及びケニアのthe Ministry of Public Service, Youth and Gender Affairsのシリリー・カリウキ長官へ、紹介し、提出しました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

4. TICAD VIを超え、新たなプラットフォーム、Africa Japan Youth Platformの構築を宣言し、若者の協働を目指します。3年後の2019年、日本で開催されるTICAD VIIIに向けた議論も、早速始まっています。また、10月29日には、和歌山県でフォローアップイベントを開催し、過疎化の進む和歌山でのユースの社会参画促進に取り組む新規プロジェクトへと繋げていきます。採択した「TICAD VIユース行動宣言文(TICAD VI Youth Declaration)」はこちらです。

(日文)<https://drive.google.com/open?id=0B9SB30VH0g4nVDNuMjJfSUdqY3M> (英文)

<https://drive.google.com/open?id=0B9SB30VH0g4ndUxYdkxXQV9yYVk>

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

作成プロセス

1. Youth on TICAD VI in Japan: Send our young voices での宣言文コメントタイム

2016年8月19日に日本国内で開催したサイドイベント「Youth on TICAD VI in Japan」当日に、参加したユースが宣言文と一緒に作成できるように、宣言文に意見を述べる時間を設けました。参加者は、TICADについて、及びアドボカシー(政策提言)の方法を学んだ上で、宣言文への意見を述べました。ここでの成果物は日本ユースの声として、アフリカのユースにも共有されました。

2. オープンアクセスによるオンラインフォームでの意見募集

日本側ユースの意見を公開した上で、オープンアクセスのフォームに自らの意見を表明する場を設けました。オンライン上で、アフリカのユースから広く意見を募りました。

1意見集約オンラインフォーム

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1xfV9xmWCv08iCZHmtdLRD4bpzelLOCJQuLkW9x7Zx-88/edit#gid=0>

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

2イベント参加申し込みフォーム兼、意見集約フォーム

https://docs.google.com/forms/d/1tTt_MZplHmHeldwn9aWNwzejkOhMwCaGt5zV8bVdQpl/edit
フォーム作成時の留意点

※参加者・提言者の属性を把握するため、年齢、性別に加え、所属(URL含む)、役割を記入する欄を設けました。更にイベントへの参加意欲を記入する欄を設け、意欲的な参加者を募れるように設定しました。

※イベント応募申し込みフォーム自体に、提言内容の意見公募欄を設けたのは、とても効率的でした。(1意見集約フォームでは5件ほどしか集まらなかったのに対し、イベント申込フォームでは700超の意見が集まりました。)

※必ず連絡先メールアドレスを記入する欄を設けること(イベント招待メールの送信や、提言内

容の確認時などに必要です。)

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

3. メーリングリスト

国境を越えたユース組織や個人のために、メーリングリストで宣言文を公開しました。事前に、メーリングリストに参加したユースは、オンライン上で宣言文に意見を述べました。 ©

Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

TICAD VIユース行動宣言文 (TICAD VI Youth Declaration) 提出先 2016年8月28日、Youth on TICAD VI: Harnessing the power of youth to build a solid foundation for African sustainable development開催当日、以下2名にTICAD VI ユース行動宣言文を提出致しました。2016年8月28日 藤田順三 TICAD担当大使

August 28th, 2016 Ms. Sicily K. Kariuki Cabinet secretary for the Ministry of Public Service, Youth and gender Affairs, Kenya

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

6. 政府との対話の成果

JYPSは、市民ネットワーク for TICAD(African)の加盟団体として、外務省と定期的な対話の場を設け、成果文書へのインプットやTICAD関連会議への参加に向けた調整を進めてきました。Africanとは、TICADに向けて政策提言や国内イベントを開催してTICADを広める活動をするNGOネットワークです。

JYPSは、ユースとして、TICAD VIIに関する外務省と市民ネットワーク for TICAD との対話に複数回参加し、外務省との積極的な対話を進めてきました。第4回と第5回に参加しています。以下、報告です。外務省HPIに一般公開された議事録を参考にしています。

○第4回「TICAD VIIに関する外務省と市民ネットワークfor TICADとの対話」 日時:平成28年7月26日(火曜日)14:00~15:30 場所:外務省内国際会議室 参加者: 1. 外務省:藤田TICAD担当大使 2. 市民ネットワークfor TICAD:稲場(特活)アフリカ日本協議会国際保健部門ディレクター,高橋(特活)ウォーターエイドジャパン事務局長,米良(特活)ハンガー・フリー・ワールド地域開発・アドボカシーマネージャー(以上,同ネットワーク共同世話人), JYPS久保田, JYPS阪田 計17名 3. JICA アフリカ部 議事概要: (1)冒頭,外務省側から藤田TICAD担当大使が,市民ネットワークfor TICADを代表して同ネットワーク世話人の稲場(特活)アフリカ日本協議会国際保健部門ディレクターが開会挨拶を行いました。(2)続いて,外務省側から,TICAD VIIにおける成果文書等について現状報告及び関連の質疑応答を行いました。(3)最後に,TICAD VIへの市民社会の参加及び安全対策に関し外務省側から説明を行った後,関連の質疑応答を行いました。

参考:http://www.mofa.go.jp/mofaj/af/af1/page22_002672.html

○第5回「TICAD VIIに関する外務省と市民ネットワークfor TICADとの対話」 日時:平成28年9月28日(水)14:00~15:00 場所:外務省内国際会議室 参加者: 1. 外務省:藤田TICAD担当大使 2. 市民ネットワークfor TICAD:稲場(特活)アフリカ日本協議会国際保健部門ディレクター,高橋(特活)ウォーターエイドジャパン事務局長,米良(特活)ハンガー・フリー・ワールド地域開発・アドボカシーマネージャー(以上,同ネットワーク共同世話人), JYPS久保田, JYPS阪田 計17名

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

3. JICAアフリカ部 議事概要 (1)冒頭,外務省側から藤田TICAD担当大使が,市民ネットワークfor TICADを代表して,同ネットワーク世話人の雨宮(特活)難民を助ける会支援事業部主任が開会挨拶

撓を行いました。(2)続いて、本年8月27日、28日にケニア・ナイロビにて開催されたTICAD VIの成果と評価について外務省側から発言した後、関連の質疑応答を行いました。(3)最後に、TICAD VIフォローアップと市民社会の参加について外務省側から発言した後、関連の質疑応答を行いました。※本会合において、JYPSは外務省へ「TICAD VIユース行動宣言文」を提出しました。

参考:http://www.mofa.go.jp/mofaj/af/af1/page23_001662.html

詳細:第5回「TICAD VIIに関する外務省と市民ネットワークfor TICADとの対話」

以下、第5回の対話におけるJYPSの発言内容です。「TICAD VIユース行動宣言文」を採択してから、ちょうど1カ月の9月28日、JYPSは「TICAD VIIに関する外務省と市民ネットワークfor TICADとの対話」に参加し、外務省へ「TICAD VIユース行動宣言文」を提出しました。はじめに、宣言文の概要として、日本アフリカはじめ、22カ国700名超の意見を集約し、83団体からの賛同を得たものであること、作成には、オンラインフォーム、イベント当日のコメント受付、メーリングリストを活用したドラフトレビューなど3段階のプロセスを経たことを説明しました。宣言文の内容については、「若者なくして若者の政策なし」という意志のもと、若者がTICADプロセスに参画する意義を掲げ、日本、アフリカ相互の課題解決を目指すユースならではの視点を盛り込んでいることを伝えました。この宣言文を踏まえ、若者が労働力としての有益性だけでなく、保健や、特に過激化抑制といった社会安定化の面においても、若者が重要な役割を果たしていることを訴えました。そこで、産業化以外の側面における若者へのサポートや役割の明確化を求めました。また、このTICAD VIでの活動を通じ、日本とアフリカの若者を繋ぐAfrica Japan Youth Platformの発足も表明致しました。TICAD VIIIに向けては、若者を支援の対象としてだけでなく、若者に何を求めているのか、どのような役割が担えるのか、担うべきなのかといったことを明確に打ち出して頂きたい旨を訴え、今後の3年間で、プラットフォームを活用して、積極的に若者としての活動を進めていく意志を表明しました。

また、ケニアでは若者や女性の課題を扱うthe Ministry of Public Service, Youth and Gender Affairsという特定の省庁や、若者起業家支援をするWEZO FUNDの存在、日本政府のABEイニシアティブ(African Business Education Initiative for Youth)といった、若者への支援が積極的な一方、日本では若者という枠組みでの取り組みが進んでいないことも言及し、日本アフリカ相互に課題解決、発展を目指すべきであることも訴えました。

最後に、これらの考えを踏まえ、以下2点の質問をしました。

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

7. SNS及びメディア掲載歴

Africa Quest.comさんに掲載いただきました。Africa Quest.comさんは「アフリカ」をテーマにした日本初にして唯一のキュレーションメディアです。「Youth on TICAD VI in Japan:Send our young voices」<http://afri-quest.com/archives/6273>

「ユースとTICAD: アフリカ開発の堅実で持続可能な礎を築くユースの力」

<http://afri-quest.com/archives/6291/3>

イベント特設ページ <https://www.facebook.com/events/176768659403217/>

【市民ネットワーク for TICADの公式ページにJYPS主催のイベントが掲載されました!!】

JYPSホームページ内での活動報告

<http://japanyouthplatform.wixsite.com/jyeps/single-post/2016/09/04/TICAD-VIKICC-%E3%82%B1%E3%83%8B%E3%82%A2%E3%80%81%E3%83%8A%E3%82%A4%E3%83%AD%E3%83%93>

JYPS Facebookページ <https://www.facebook.com/JYPS2030/>
8/28サイドイベント告知フライヤー(ナイロビ現地での広告用)AfriCAN(市民ネットワーク for TICAD) http://afri-can-ticad.org/wp-content/uploads/2016/08/side_events_160808.pdf

8/19東京イベント(AfriCAN(市民ネットワーク for TICAD))

http://afri-can-ticad.org/event_top/youth_160818/

8/28ナイロビでのイベント(AfriCAN(市民ネットワーク for TICAD))

http://afri-can-ticad.org/ticad_information/ticad6_en/jyps_en/

8/28ナイロビでのイベント(Facebookイベントページ)

<https://www.facebook.com/events/176768659403217/>

8/19 イベント特設ページ © Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/>

8/19 イベント応募フォーム

https://docs.google.com/.../1FAIpQLSfvF6C3AeP_MQYdtT.../viewform

【市民ネットワーク for TICADの公式ページにJYPS主催のイベントが掲載されました!!】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1119299364811777>

【市民ネットワーク for TICADさんに掲載いただきました】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1121823691226011>

[市民ネットワーク for TICAD 世話人 稲場雅紀さん、国際協力機構 保健課題アドバイザー 杉下智彦さんの両名から自己紹介文が届きました!!]

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1122737244467989>

[JYPS主催TICAD VIイベントが開催されました!!]

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1133813460027034>

【TICAD VI の三大項目の一つ《社会安定化》ってどういうこと?】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1134922393249474:0>

【TICAD VIがまもなく開催です!JYPSも登壇します!】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1138842032857510>

【まもなくナイロビでTICAD VI開催!開催前日の26日の様子もお伝えします!】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1139319442809769>

【TICAD VI の三大項目の一つ《強靱な保健システム》ってどういうこと?】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1139495779458802:0>

【TICAD VI Opening Sessionが始まりました!】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1139691959439184>

【TICAD VI Plenary Sessionでアフリカ大統領たちとの議論に参加!】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1140042739404106:0>

【TICAD VI の三大項目の一つ《経済多角化と産業化》ってどういうこと?】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1140331819375198>

【TICAD VIサイドイベントを主催!ユースの行動宣言を採択しました!】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1141037569304623>

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

【9月26日、TICAD VI 市民社会報告シンポジウムが開催されます】

<https://www.facebook.com/JYPS2030/posts/1167368813338165>

『ユース行動宣言文へのコメント集約フォームはこちら』

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1599866210311015/>

『Youth on TICAD VI: Send our young voices August 19th (Friday)』

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1600397763591193/>

~TICAD VI開催に向けた連投記事1~ 『TICADとアフリカを知らう』

<https://www.facebook.com/JYPS2030/photos/gm.1599518700345766/1121844084557305/?type=3&theater>

~TICAD VI開催に向けた連投記事2~ [登壇者紹介!市民ネットワーク for TICAD 世話人 稲場雅紀さん] <https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1599859366978366/>

~TICAD VI開催に向けた連投記事3~ [登壇者紹介2!保健システム強化プロジェクトの陰にこの人あり!杉下智彦さん]

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1599862276978075/>

~TICAD VI開催に向けた連投記事4~ [緊急上映:リベリア地場NGO、NACFCEOからビデオと提言コメントが届きました!]

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1602628953368074/>

~TICAD VI開催に向けた連投記事5~ [世界最悪の紛争国と謳われる「ソマリア」に対し日本で唯一現地で活動する学生NGO!!:日本ソマリア青年機構]

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1603317253299244/> ~TICAD VI開催に向けた連投記事6~ [登壇者紹介4!AIESEC マラウィ支部 創設者!!小林あやめさん]

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1603327933298176/>

【本日Skype参加の方へ】

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1603468356617467/>

【宣言文採択コメント受付について】

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1603501539947482/>

【本日Skype参加の方へ】

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1603502576614045/>

【明日開催Youth on TICAD VI in Japan:Send our young voicesのご連絡】

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG

<https://www.facebook.com/events/1594939094137060/permalink/1603221276642175/>

ご挨拶 以上を持って、JYPSのTICAD VIIに関わるTICAD WGの活動報告といたします。数多くの皆様の多大なご協力をいただき、アフリカの開発に関わる提言や認知度の向上に貢献できな

ことを感謝申し上げます。

引き続き、JYPSは、若者のエンパワーメントと政策形成にかかわる機会を提供すると同時に、実質的な政策提言を通じて、日本における若者を含むマルチステークホルダー参画の仕組みを構築するため、SDGsの真の実現に向けた様々な取り組みを含む、更なる若者のプラットフォームを作ります。

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2016年11月30日 Japan Youth Platform for Sustainability TICAD WG一同

© Japan Youth Platform for Sustainability TICAD VI WG